

# 感性科学グループの成果発表に当たって

感性科学班 代表 川畑秀明

感性科学グループ（川畑グループ）では、科研費・基盤研究(B)『美的意識の無意識的過程に関する認知脳科学的解明：処理過程と影響過程の統合的理解』（2019-2021, 研究代表者）、同・新学術領域研究『出ユーラシアの統合的人類史学：文明創出メカニズムの解明』の計画班『認知科学・脳神経科学による認知的ニッチ構築メカニズムの解明』（2019-2023, 研究分担者）、および複数の企業との共同研究契約による研究資金をもとに、心と脳の感性的働きに着目した研究を進めています。その中でも、芸術をはじめとした文化的対象の見方や感じ方、表現に関する研究（神経美学および実験美学）、対人魅力や顔の美しさや印象に関する研究を中心に研究を進めてきています。現在、感性科学グループは特任助教2名を含め、国内外の研究機関、美術館、企業等の研究者との共同研究を盛んに行っています。心理学や認知神経科学だけでなく、哲学や考古学、人類学、生物学、工学、マーケティングなど幅広い分野との交流と研究のもとに、美や芸術を感じる心と脳の働きについて明らかにする学際性が特徴です。

本成果発表では、対人印象に着目して、(1) 私たちがヒトの顔についてどのような形態的特徴から印象を形成しようとするのかについての報告、(2) 自己と他者とのパーソナリティ理解の相互性に関して顔の形態的特徴とを関連させた研究を報告します。